

熱中症対策・チーム・選手の体調管理

- ※ 熱中症対策として、チーム・選手の体調管理は各選手、チーム責任者はしっかり把握する事！
 - ※ 本部担当チームは夏場、試合時のWBGT温度計で温度の確認をし、審判報告書右欄に記入する事！
 - * チーム代表者・責任者は選手の体調管理を常に確認する事。
 - * チームで経口補水液を常に2・3本準備し体調の悪い選手に補給させる事！
 - * チームで日除け、雨除け用簡易テントを準備する事！
 - ・ 体調の悪い選手は人数が少ない時なども、無理に出場させない
 - * 夏場の、飲水、クーリングタイム(日除けの有る所で休み飲水を取る)等、しっかり体調を整える事！
 - * 暑い時期の水準備は各自通常より多く準備させる。
 - ・ チーム内、常に各選手に声掛けし、体調の悪そうな選手を事前に把握できるよう行う。
 - ・ 試合前、試合中に選手の体調状況を確認する事！
 - ・ 熱中症になり易い選手を把握し、常に水分補給、体調を確認する事！
 - ・ 試合前、木曜日から体調を整え、寝不足、飲酒等注意を即す事！
 - ・ 6月中旬より、9月中旬まで特に暑い時期が続きます。水は通常より多く持参して準備させること。
 - ・ シャワーが有る施設ではシャワーを利用し体調を整える事。
 - ・ 試合後各選手の状況を把握し、声掛けし確認して帰宅する事。
 - ・ 帰宅後の選手の体調の確認をする事！
 - ※ 熱中症になり車の中でクーラーを掛け涼んでいる時に心筋梗塞なども起きます。
絶えず各選手の動向を確認して下さい。
 - ・ 試合後、審判・ボール係は充分水分補給を行いながら活動する事。
- [※2023年度に埼玉県のスニアリーグで熱中症か不明ですが、死亡事故が発生しています！！](#)

※ 熱中症対策(本部注意事項内)

- ・ 各クラブ役員は所属選手の体調管理を把握し、夏場時は特に注意し体調不良選手は試合へ参加を行わない。
- ・ 熱中症対策として暑い時には前・後半に飲水・クーリングブレイク(ランニングタイム)で取る。
- ・ 試合会場内(天然芝・人工芝)では補給できないが、ミネラルを多く含んだドリンクを準備する。
- ・ 各チームのベンチの後に簡易テントを準備する事。直射日光を避け、体を極力冷やす。
- ・ 本部に飲水用ボトルの準備を行う。(新型コロナ対策中、現在中止)
- ・ チーム管理で経口補水液を準備する。(体調不良の選手が出た場合は飲んでもOKなので命優先とする)
- ・ 試合後の審判、ボール係は特に注意し飲水を奨励、又、試合後に熱中症で倒れる事が有るので注意。
- ・ 試合終了し解散後、チーム内にてライングループなどで安全確認を取ることを推奨します。